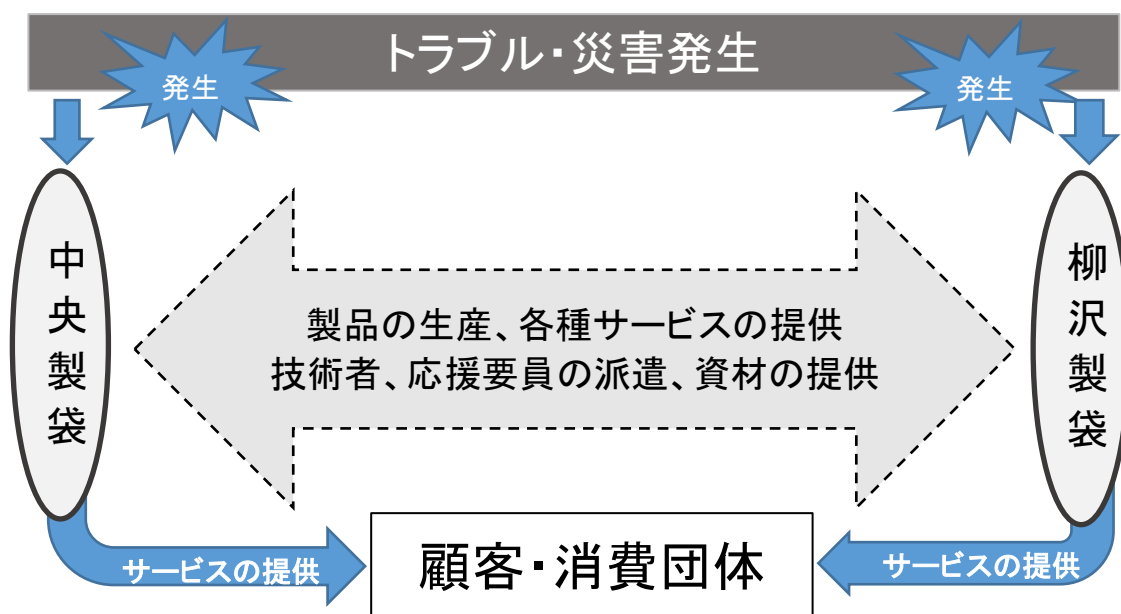


事業継続計画(BCP)の取組み

BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)とは、自然災害や人的災害・事故などの不測の事態が発生した際に、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や迅速な復旧を図るための計画です。

企業は、災害や事故で被害に遭遇すると、事業活動に大きな影響を受け、最悪の場合、お客様への製品納入ができず、お客様の事業活動にまで影響を及ぼしてしまいます。こうしたことから、近年、リスクを回避するために、事業継続計画(BCP)に取り組む企業が増えています。当社でも、お客様への供給責任を果たせるように、様々な取り組みを行っています。第一には、当社からお客様に製品供給ができない事態に備え、関東地区に拠点を持つ「柳沢製袋株式会社」とパートナーシップ契約を結んでいます。有事の際、お互いに協力して、お客様への製品供給を継続できる体制を準備しております。(下図参照)



事業継続計画(BCP)の具体的な内容

■ サプライチェーンに関するもの

製品供給を継続するためには、材料が必要です。

拠点を持つ地域が離れており(関東と九州)、異なるサプライチェーンを持っていますので、クラフト原紙、副資材などの確保について、補完できる関係になっています。

■ 生産設備、人員に関するもの

製品を生産するには、設備と人が必要です。

両社とも、類似の設備で、類似の製品を生産しています。お互いの工場を訪問しての技術交流など、コミュニケーションを活発に行い、品質レベルや生産能力、人員の技術力のアップに取り組んでいます。そのため、生産上のトラブルや人員の不足が発生した際に、お互いに支援可能な関係にあります。

■ システムに関するもの

お互いの生産システムの互換性を持つことで製品仕様、在庫状況、受発注内容をオンラインで確認できるシステムを開発中です。